

コスズガモの北海道初記録

青木 則 幸¹⁾・中岡 利 泰²⁾

コスズガモ *Aythya affinis* は北アメリカ北部で繁殖し、北アメリカ中部から中央アメリカにかけての地域で越冬し、日本では冬季希に飛来し、淡水域において見られることが多い。(桐原.2000)

著者らはこれまで北海道では記録がなかったコスズガモ *A.affinis* (藤巻.2000) 雄1羽をえりも町において確認したのでここに報告する。

1992年1月17日北海道幌泉郡えりも町本町のえりも漁港において海面に浮かぶ約20羽のスズガモ *Aythya marila* の群中に頭部の形態からコスズガモ *A.affinis* の雄と思われる個体を1羽発見した。しかし岸より遠かったため同定可能な写真の撮影はできなかった。そして翌18日に再びえりも漁港において、昨日と同一と思われるスズガモ *Aythya marila* の群れが漁港のコンクリートのスロープで休息しているのを発見し、近接撮影及び観察を試みた。その結果、当該個体をスズガモ *A.marila* の雄と比較し、以下のような相違が認められたためコスズガモ *A.affinis* の雄と同定した。

1. スズガモ *A.marila* では嘴先端部の黒斑が幅広く、特に嘴の先端部で広がっているのに対し、コスズガモ *A.affinis* では幅が狭く、黒斑は嘴爪部に限られる (写真1.)。
2. スズガモ *A.marila* に比べ、コスズガモ *A.affinis* のほうが背の波状横斑の目が粗く太い (写真1.)。
3. スズガモ *A.marila* では脇の横斑が非常に淡く、あまり目立たないが、コスズガモ *A.affinis* の脇には淡い波状横斑がある。(写真1.)
4. スズガモ *A.marila* より、コスズガモ *A.affinis* は一回り小さく、ほぼキンクロハジロ *Aythya fuligula* と同大である。

5. スズガモ *A.marila* は額が出っ張り、後頭は丸いが、コスズガモ *A.affinis* は頭頂が高くせり上がり、後頭がやや冠羽状に尖る (写真2.)。
6. 翼上面のパターンが、スズガモ *A.marila* では次列風切りと内側初列風切にも白い部分があるが、コスズガモ *A.affinis* では次列風切のみが白色であり、内側初列風切りは灰色である (写真3.)

ただし、5-6の相違点はキンクロハジロ *Aythya fuligula* とホシハジロ *Aythya ferina* の雑種の雄で、5の特徴はスズガモ *A.marila* とキンクロハジロ *A.fuligula* の雑種の雄で見られる特徴でもあるため、これらの特徴のみでコスズガモ *A.affinis* と断定することは出来ない(志村.1980, 桐原.2000)。なお、本件で報告する個体の画像は1992年よりえりも町郷土資料館「ほろいずみ」にて展示中である。

また、その後根室支庁管内において著者青木則幸により以下3例の観察記録がある(高田2001, 青木私信)。これらの記録はいずれも海水域でスズガモ *A.marila* の群中において観察された。

1992年2月26日 北海道野付郡別海町尾岱沼 尾岱沼漁港 雄1羽。

1994年2月8日 北海道根室市落石 落石漁港 雄1羽。

2005年4月9日 北海道根室市齒舞 齒舞漁港 雄1羽。

なお、本稿の作成にあたり、千葉県在住の桐原政志氏と亀谷辰朗氏には情報の提供と文献の紹介をいただいた。ここに謝辞を述べる。

¹⁾ 〒087-0036 北海道根室市幌茂尻141

²⁾ 〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207 郷土資料館「ほろいずみ」



写真1.

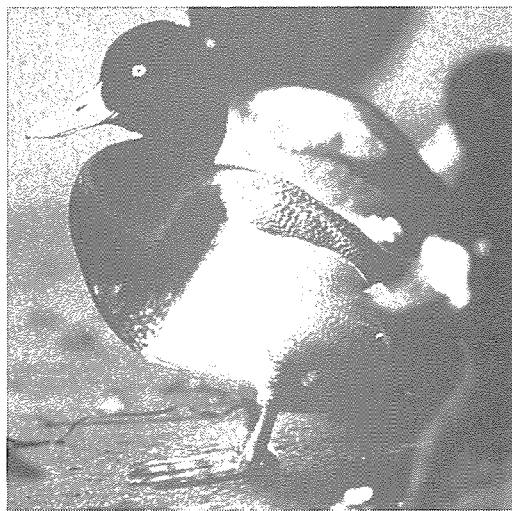


写真2.



写真3.

引用文献

藤巻裕蔵（2000）北海道鳥類目録改訂2版.

帯広畜産大学野生動物管理学研究室

桐原政志（2000）日本の鳥550水辺の鳥. 文一総合出版, 東京.

志村英雄（1980）日本版「コスズガモ」問題.野鳥 411：37p.

高田令子（2001）根室支庁管内鳥類リスト. 根室市博物館開設準備室紀要(15)：95-114.